

水陸両用走行型ドローンを活用した雨水管点検実証実験を実施します！ ～水位ゼロから高水位までシームレスに走行可能な無人機活用の有効性検証～

千葉市では、ドローン等の近未来技術の振興等を目的に、行政や民間事業者の業務におけるドローンの活用を進めています。

このたび、水陸両用走行型ドローン（陸上および水上で走行可能な無人機）を活用した雨水管点検を実施しますので、お知らせします。

なお、本実証実験は、国土交通省「令和6年度 海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」に採択された「水陸両用ドローンを活用した沿岸部治水施設の点検実証」（代表者 炎重工株式会社）について、千葉市内の地下雨水管を利用して実施するものです。

1 趣旨

本市では、災害時の治水機能の確保等のため、総延長約3,800kmの下水道管（汚水・雨水）を整備しています。老朽化対策の一環として、水位ゼロから高水位までさまざまな環境を持つ雨水管の点検に、水陸両用走行型ドローンを活用する実証実験を行い、通常の点検業務と比較し、安価で効率的な維持管理に資するか検証するものです。

2 日時

令和7年1月16日（木）

10:30～12:00

※予備日 1月17日（金）同時間

3 場所

美浜区若葉3丁目（右図のとおり）



実施場所

4 実施者

ほむら
炎重工株式会社（所在地 岩手県滝沢市穴口57-9）

5 実施内容

機体を地下雨水管内で水上走行させ、付属のカメラで内部を撮影し、点検を行います。撮影した映像はリアルタイムで地上のモニターで確認することができます。

また、花見川の護岸上にて陸上走行テストを行う予定です。



実施イメージ

6 取材について

取材希望の方は、1月14日（火）正午までに、別添「取材申込書」に記載し、国家戦略特区推進課へメール（tokku.POF@city.chiba.lg.jp）でお申し込みください。

※当日は別添「取材申込書」に記載した集合場所までお越しください。なお、実施場所に車でお願いいただく場合は、近隣の駐車場をご利用ください。

※悪天候の場合は予備日に延期して行います。取材申し込みをいただいた方には事前にお知らせします。

<参考>

1 使用する水陸両用走行型ドローンの概要（炎重工株式会社製）



- ・機体寸法 幅 54 cm 奥行 55 cm 高さ 43 cm
- ・機体重量 1.7 kg（バッテリー含む）
- ・バッテリー持続時間 3 時間
- ・最高速度 水上 2 km/h
陸上 1 km/h
- ・カメラ フル HD
- ・無線周波数 2.4 GHz 帯無線 LAN

2 「海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」（国土交通省）の概要

国土交通省では、沿岸・離島地域における高齢化・過疎化による担い手不足、老朽化が進むインフラの管理、海域の自然環境劣化等の課題を解決するため、海の次世代モビリティに係る技術・知見の活用および現地に実装するための必要事項を検証することを目的として、その検証に資する実証実験を令和3年度から実施しています。

令和6年度の実証実験として4件採択され、今回の実証実験はそのうちの1件となります。

問い合わせ先

【実証実験に関すること】

総合政策局未来都市戦略部国家戦略特区推進課 電話 245-5375

【地下雨水管に関すること】

建設局下水道施設部下水道維持課 電話 245-5431